

令和元年度「みやぎ農業見聞のつどい・秋」開催要領

1 目 的

農業を魅力ある産業として構築していくためには、青年農業者の確保育成が喫緊の課題であり、担い手の確保にあたっては、農家子弟だけでなく、非農家出身の方や、他産業に従事し豊富な経験や知識を持つ方など、幅広くやる気のある優秀な人材の確保が重要となっています。そのため、公益社団法人みやぎ農業振興公社では、他産業に就業しながら新規就農を希望している方などを対象に、宮城県の農業・農村への理解を深めていただくことを目的として、農業見学バスツアー「みやぎ農業見聞のつどい・秋」を開催いたします。

2 テーマ

「新規就農準備 今、私のやるべきことは？」～視察農家や参加者と交流しながら考えよう～

3 主 催 公益社団法人 みやぎ農業振興公社

4 共 催 宮城県、一般社団法人 宮城県農業会議、宮城県農業協同組合中央会

5 開催日時及び集合場所

開催日時：令和元年 10月 26日（土）午前 8時 30分～午後 5時 00分

集合場所：JR仙台駅 東口2階ペDESTリアンデッキ広場

6 見 学 先 宮城県登米市、遠田郡涌谷町、遠田郡美里町

7 内 容 先輩農業者、農業法人の圃場を見学し、意見交換を行います。

① 遠田郡美里町 あーりあらわと農園 ブシャン・アケボノ 氏

中学生の時に家族でインドから仙台市に移住。自分の作った野菜を使って料理を提供したいと考え、高校と農業大学校で農業を学んだ。農地探しが難航し、美里町に家族全員で引っ越してから、農地を探したという珍しいケース。就農から5年が過ぎ、無農薬・無化学肥料で多品目の野菜を露地と施設で栽培している。

② 遠田郡涌谷町 有限会社 氏家農場 氏家 靖裕 氏

施設で小ねぎとみず菜、露地では白ネギと青ねぎを栽培し、水稻を含めた複合経営を行っている。「健全な野菜は健全な土づくりから」がモットー。ASIAGAPの認証も取得し、基準に則った徹底した栽培管理を行っている。幅広い年代の従業員がおり、明るく元気で和気あいあいとした雰囲気職場である。

③ 登米市 さきたまファーム 常永 秀晃 氏

関東の調査研究機関から、自然豊かな環境での生活に憧れ、登米市での研修を決めて移住した。研修後、ミニトマトとミディトマトの施設栽培で就農し、7年目。就農にあたっては、耕作放棄地の開墾やハウスの建設の工事遅延などで苦労が多かった。現在、新しい品種の導入を進めながら、独自ブランドで販売を行っている。

8 参加申込及び参加経費等

① 募 集 定 員 15名 ※応募者多数の場合は抽選とし、50歳未満を優先とさせていただきます。

② 参加申込締切 令和元年 10月 16日（水）

③ 申 込 方 法 別紙参加申込書に必要事項をご記入いただき、郵送またはFAX等でご応募下さい。

④ 申 込 先 〒981-0914 宮城県仙台市青葉区堤通雨宮町4-17
公益社団法人 みやぎ農業振興公社

電 話：022-275-9192 FAX：022-275-9195

⑤ 参 加 経 費 参加者一人 1,500円（バス代・保険料・昼食代等含む）

※集合場所までの交通費は、自己負担となります。

令和元年度「みやぎ農業見聞のつどい・秋」行程表

とき：令和元年10月26日（土）

時 間	内 容	場 所
8:20～ 8:30	受付開始 集 合	JR仙台駅東口2階ペディストリアンデッキ広場
8:35	出 発 移 動	中型バスで移動
9:55 ～	ほ場見学	【訪問①】 遠田群美里町 (多品目有機野菜) あーりあらわと農園 ブシャン・アケボノ 氏
10:50	出発・移動	
11:10 ～	ほ場見学	【訪問②】 遠田群涌谷町 (小ネギ・水菜・青ネギ・水稲) (有)氏家農場 代表取締役社長 氏家靖裕 氏
11:50	出発・移動	～昼食会場に移動～
12:05 ～	昼食・市場見学	菜園レストラン野の風・農産物直売所花野果市場 遠田群美里町練牛字14-20 TEL0229-59-1250
13:30	出発・移動	
14:10 ～	ほ場見学	【訪問③】 登米市米山町 (施設栽培ミディ・ミニトマト) さきたまファーム 常永 秀晃 氏
14:55	出発・移動	
15:10 ～	休 憩	道の駅「米山」 宮城県登米市米山町西野字遠田67 TEL0220-55-2747
15:25	出発・移動	
16:55 17:00	到 着 解 散	JR仙台駅東口「貸切・送迎バスプール」 ※道路事情等により、遅れることがあります。

